

# ワクワクながわ新聞 第115号

発行日：平成28年6月15日(水)

発行者：若林ひろき 品川区議会議員

ブログ：<http://ameblo.jp/wakabayashi-hiroki/>



●過去に接種したことがない方  
●過去に接種したことのある方は要件あり  
■接種場所は、品川区内の契約医療機関（要予約）  
●個別通知はしていません  
■自己負担額4千円  
●生活保護の方は無料【問合せ】  
予防課☎5742-9152、各保健センター

高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種費用の一部助成

国土交通省  
東京横断!!  
運河探検クルーズ

東京都  
水上タクシー  
体験乗船

## ちょっといい話

チエスの小説の取材で、とある学校の部活動を取材に行きました。少年がじっと考えている横顔がりりしくて、人間ってこんな美しい表情をするのだと思いました。考えることは人間を高めると思います。(作家・小川洋子さん)  
年齢に負けずに、まだまだ頑張りたい。そう思っていた私を奮い立たせてくれたのが、「日本人の65歳以上の就業率」が世界トップクラスである、という統計結果です。家計のためだけでなく「社会の役に立ちたいから」という人も多いそうです。日本は“シニアが輝く国”。私も負けちゃいられませんよ。(予備校講師・タレント、林修さん)

## 乗船レポート 国・都の舟運(しゅううん)活性化実験

品川区を始め、東京湾に面する地域は、実は「水の都」。とはいっても、気軽に乗れるような船もなく、身近に感じることはあまりなかったのではないかでしょうか。東京オリンピック・パラリンピック決定以降、にわかに東京の水辺が注目されています。国や都は、舟運を活性化させるために、社会実験を始めました。国土交通省「東京横断!!運河探検クルーズ」(5月19日)、都「水上タクシーエクスプレス」(5月21日)の模様をレポートします。

⑩終点・万世橋



⑨神田川の橋がすれすれ



⑦いい眺めです



[3] 狹い運河内は引き波がでないようゆっくりと湾に出たとたん時速30キロ



[1] 水上バスは6人乗り(田町船着場から出発)



⑥新・豊洲市場



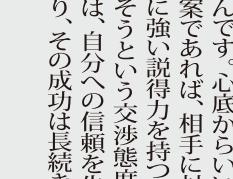
⑤レインボーブリッジくぐります



④隈研吾氏デザイン  
寺田倉庫裏(天王洲)



②遠くが見たいなど  
彫刻数点(八潮)



①ZEAL 船に乗船

(つづく)

「一流の人は本気で怒る」  
小宮一慶著／文新書 その2  
西郷と長州の桂の薩長同盟の話  
し合いが不調にならうとした時、桂が「薩摩に情けを求めるとはできぬ。たゞえ長州が幕府から攻め滅ぼされても面目を落とすことはできない」と言つた。ここで坂本龍馬は怒りを爆発させます。長州の対面云々、忘うけたまわら。しかし元来、薩長の和解はこの日本国を救わんがためなれば、「藩の私情は忍ばざるべからず!」一介の土佐浪人の龍馬が、雄藩の実力者に言うべきことを言いきったところがすごい。理想主義者の怒りに基づく実行力が明治維新への道を開いたと言つても過言ではないでしょう。

海援隊のいろは丸が、紀州藩の船と衝突事故を起こし龍馬は船も積み荷も全て失つてしまいま。徳川御三家の紀州藩、普通ならびひるんで何とも言えないところ。しかし、龍馬は万國公法を手に持論を展開し、紀州藩から多額の賠償金を獲得した。龍馬がゆく全巻を五度通読したソフトバンクの孫正義社長は、龍馬の正しい怒りについて、「私も多くの交渉を経験ましたが、説得するのが最も難しい相手は、実は自分自身なんですね。心底からいいと思える提案であれば相手に対しても非常に強い説得力を持つ。相手をだまそうという交渉態度は最終的には、自分への信頼を失うことになり、その成功は長続きしません」

## 私の本棚